

OMIYA MAIL NEWS



JR EAST
TRANSPORT
SERVICE WORKERS
UNION

JR東日本輸送サービス労働組合
JTSU-E OMIYA 大宮地方本部

2024.12.22
No. 022



HOMEPAGE



TWITTER

(小山運輸区)

1, 今ダイヤ改正における成果と課題を明らかにすること。

会社回答：ご利用状況を踏まえた輸送体系を構築したところである。

組合) 成果と課題を具体的に

会社) 相互運用ができたこととデメリットは見当たらない。

2, 小山車両センターの乗務員宿泊場所にゴミ箱を設置すること。

会社回答：必要に応じて関係機関に要請していく考えである。

組合) もう一度乗務員を信じていただき再度設置していただきたい。

会社) 要請はしているが、関係機関からの信頼が未だにない。

3, 運転士が15両編成で折り返しドア扱い・行先設定をする場所は、8分30秒以上を確保すること。

会社回答：必要な時間は確保しているところである。

組合) 現在、15両を7分30秒でやっているがあまりにも時間がない。

会社) 尾久出区場面と思われるが、出来る限り8分30秒に近づける考えである。

4, 指定通路や沿線の除草作業を適宜実施すること。

会社回答：必要な環境整備は図っていく考えである。

組合) 自分の区でやっているのか？外注しているのか？依頼があれば除草するのか？

会社) 年間計画を立てて除草を行っている。具体的には、栗橋の線路沿い・小山車両センター構内・指定通路は年に三回実施している。

5, 231系の前部標識をLEDライトにすること。

会社回答：順次、LED化を進めているところである。

組合) 毎年要望している進捗状況は？

会社) 今年度中に10両編成は終了する。終わり次第15両編成を変更していく計画。

6, 時季変更権行使や休日出勤数が多いため、適正な要員を確保すること。

会社回答：社員の健康管理の観点も踏まえ、休日出勤数の削減に引き続き取り組んでいく考えである。

組合) 休日出勤数の削減に具体的に取り組んでいることは？

会社) 新規要請・異動者で要員を確保・管理者の乗務・兼務者の乗務

組合) 対策を取り組んで効果はあったのか？人事運用の失敗ではないのか？

会社) 波はあった。流行り病等、想定外のこともあり確保は厳しい。

7, 「効率性と働きやすさ」は相反するものだが、近年のダイヤ改正は効率性が重視されているため健康経営の観点から働きやすさを融合したダイヤ改正にすること。

会社回答：ご利用状況を踏まえた輸送体系を構築するとともに、乗務員勤務制度に基づいた行路作成を行っていく考えである。

組合) すべての項目を総合して、現場の声を反映していただきたい。昨年のダイヤ改正の検証した結果51項目も課題があるということ。プレス発表をする前に検証交渉を実施するべきだと考える。

会社) 要望としては承ります。

近日、次期ダイヤ改正の提案もされる予定です。

利用者から推してもらえるダイヤ商品にしていこう